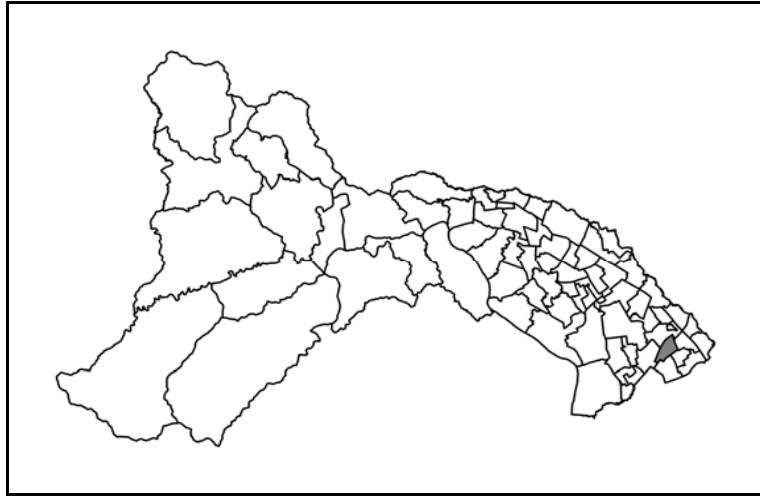


○地区を構成する町丁

【南区】旭町、相模大野6丁目、東林間1丁目・2丁目、南台2丁目・3丁目

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

大野南(旭自治会団地管理組合法人, 相模大野南, プラザシティ相模大野北, プラザシティ相模大野南), 相模台(自治会法人鶴ヶ丘, 南大野), 東林(自治会法人東林間, 相模大野ハイツ)

○地区概況

台地(上段)にあり、大部分は平坦な地形である。地区の西縁を県道51号町田厚木線が通っている。南部を水道道緑道が東西に、中央を小田急小田原線が南北方向に通っている。北部には相模大野駅から続く商店街があるが、その他は大半が住宅地であり、プラザシティ相模大野などの耐火造の集合住宅も多い。

○建物数・人口

建物	区分		建物(棟数)
	区分	棟数	
建物	木造(昭和55年以前)	576棟	
	木造(昭和56年以降)	1,014棟	
	非木造(昭和55年以前)	140棟	
	非木造(昭和56年以降)	522棟	
	合計	2,252棟	
人口	区分		人口(人)
	区分	人口	
人口	0~4歳	577人	
	5~64歳	12,580人	
	65歳以上	3,246人	
	合計	16,403人	

○所見

- 避難所は地区内に1箇所であるが、ほぼ中央部にあり、避難は比較的容易である。
- 富士山の大規模噴火時には2~30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	県高相合同庁舎, 南保健福祉センター
警察署	
消防署	
消防団詰所	相模大野, 南台
病院等	竹村クリニック
主な災害時要援護者施設	南療育相談児童発達支援事業所, シェーン, アミーレジデンス相模大野, 来夢
幼稚園、保育園	
学校、大学	鶴の台小学校
避難所 ※洪水時避難所兼用	鶴の台小学校
洪水時避難所	
広域避難場所	
防災備蓄倉庫 ※広域避難場所対応	鶴の台小学校
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

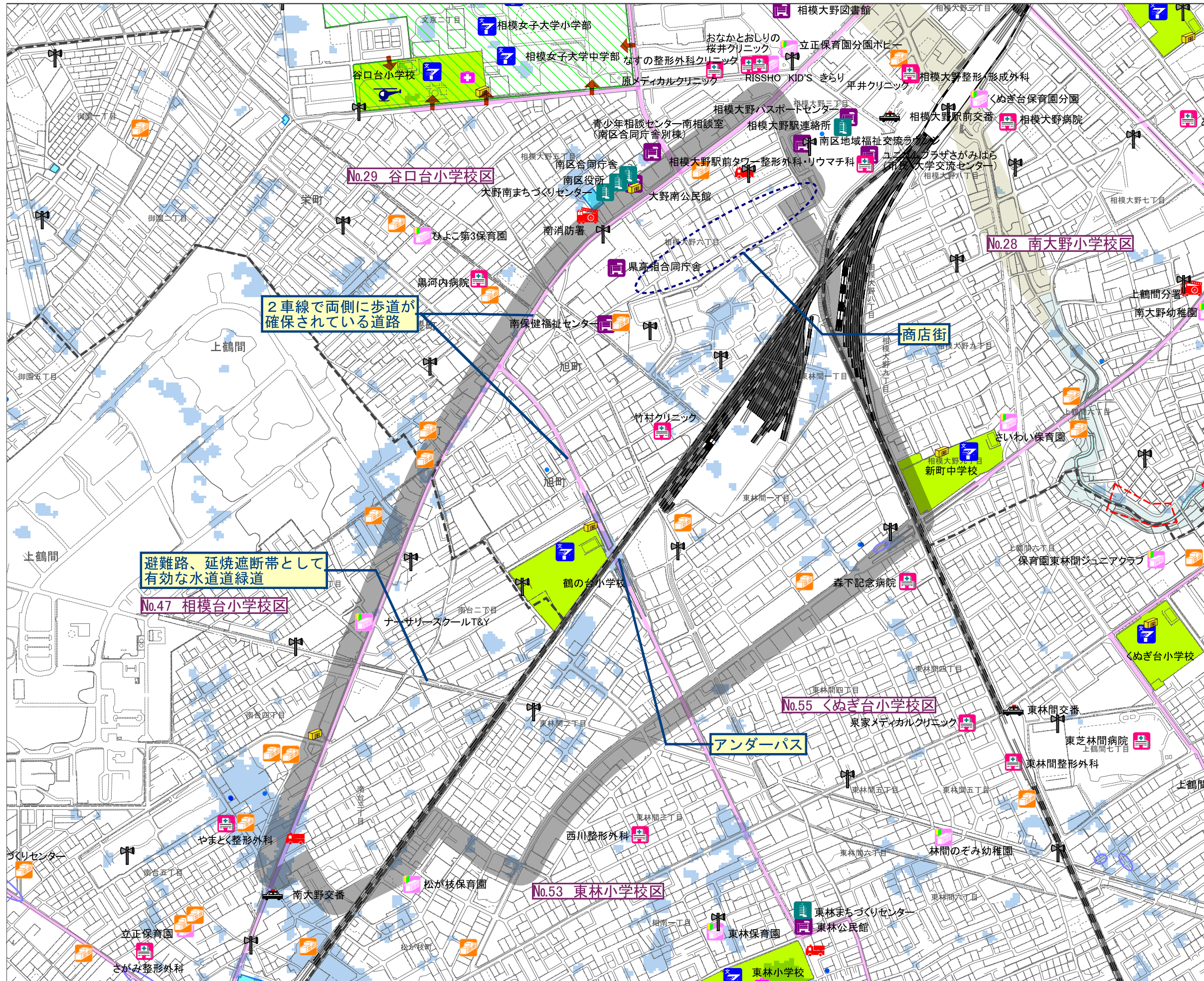
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	121棟	5.4%	4棟	0.2%	34棟	1.5%
建物焼失	10棟	0.4%	1棟	0.0%	0棟	0.0%
死者	7人	0.0%	0人	0.0%	2人	0.0%
閉込者	62人	0.4%	3人	0.0%	19人	0.1%
重傷者	10人	0.1%	1人	0.0%	3人	0.0%
軽傷者	58人	0.4%	10人	0.1%	31人	0.2%
避難所避難者(当日)	477人	2.9%	41人	0.3%	162人	1.0%
避難所避難者(1週間後)	1,486人	9.1%	395人	2.4%	918人	5.6%

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	
土砂災害	
地震による地盤災害	
地震による建物被害、火災	

○近年の主な災害履歴

平成19年 7月29日 床下浸水1戸、床上浸水1戸
平成20年 8月28日 床下浸水1戸



凡 例

防災関連施設等

	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設
	幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄

みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)

